

令和7年（2025年）11月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（2日目）

令和7年12月8日（月）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	山田 マドカ (立憲民主・社民・ニライ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 子どもの居場所について 2 学校給食について 3 こども家庭センターの組織体制について	(1) 陳情にて採択された「子どもの居場所の補助金増額のお願い」について、その後どのようになったのか、進捗状況を伺う (2) 子どもの居場所の無い地域への対応について伺う (3) ふるさと納税を活用した子どもの居場所支援「思いやり型返礼品」のその後の進捗について伺う 那覇市に在住している児童生徒への学校給食費無償化の対象にフリースクールに通う児童生徒も対象とされるのか伺う 那覇市こども家庭センターは、児童虐待対応に加え、ヤングケアラー支援、多胎児支援、産後ケア事業、要対協連携など、高度な判断と関係機関協働、夜間対応など勤務時間外の業務負担も増大していると推察される。そこで以下伺う (1) こども家庭センターの児童虐待部門の組織編成と人員配置について、正職員・会計年度任用職員それぞれの人数及び職種・職務体制について伺う (2) 虐待通報件数が例年増加しているとの声を聞いている。虐待対応や勤務時間外の保護者対応、要対協・関係機関との連携等を含め、職員・会計年度任用職員の一人当たりの勤務時間外の実績を伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 環境行政について 5 断水について	<p>(3) 業務上、勤務時間外の対応は避けられないと思うが、それに対する手当等は適切に支給しているか、またメンタルケアについて伺う</p> <p>不法投棄について那覇市の対応、現状と課題について伺う</p> <p>11月24日に発生した断水に対して給水活動等、那覇市の対応について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、 関係部長</p>

一般質問（2日目） 令和7年12月8日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	湧川 朝渉 (日本共産党)	<p>1 負担金について</p> <p>2 小禄市営住宅について</p> <p>3 市営住宅家賃の過大徴収について</p> <p>4 安謝福祉複合施設について</p> <p>5 那覇市内の自衛隊基地について</p>	<p>補助金ガイドラインから負担金を排除している理由を問う</p> <p>アスベスト除去の取組について取組状況と今後のスケジュールを問う</p> <p>所得のない70歳の方が「入居契約者」、契約上の借主となり、年間所得200万円の40歳の子どもと同居しているケースの場合、老人扶養控除を適用して家賃を算定する場合と、控除なしで算定する場合とで家賃は月額3,500円変わる。こうした過大徴収は、老人扶養控除が導入された1977年から起きていた可能性がある 過大徴収分の返還について取組を問う</p> <p>有機フッ素化合物(PFAS)除去の取組を問う</p> <p>(1) 弹薬庫の増設について 市民の命を守るためにも、隣接する那覇国際空港の安全性を確保するためにも、国が計画・検討している、弾薬庫の増設に反対すべきである。見解を問う</p> <p>(2) 航空自衛隊のアクロバット飛行チーム、ブルーインパルスが12月14日の美ら島エアーフェスタ2025で曲技飛行を予定している。展示飛行の中止を求めるべきである。見解を問う</p> <p>(3) 自衛隊基地内の有機フッ素化合物(PFAS)汚染について 航空自衛隊那覇基地は21日までに、2021年2月の事故後に定期的に実施していた那覇基地内水路の有機フッ素化合物(PFAS)等の水質調査を終了すると発表した 当局の見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		6 消防行政について 7 防災行政について 8 宇栄原南区画整理事業について	<p>現在の那覇市西消防署安謝出張所について、これまでの私の定例会での質問への答弁において、①那覇市が想定する津波に対応できない・崩壊する事、②消防力の整備指針・救急隊の充足率を達成するためにも、建替えの際、救急隊を増隊する必要である事が明らかになっている 安謝出張所の建て替えを早急に取り組むべきである。見解を問う</p> <p>防災危機管理課の業務概要を問う</p> <p>宇栄原南土地区画整理事業の換地について、事業について概要を伺う</p>
【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長			

一般質問（2日目） 令和7年12月8日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	仲田 奨司 (無所属クラブ)	1 那覇大綱挽について 2 災害・火災対策について 3 公園行政について	(1) 那覇大綱挽時のトイレ設置状況について問う (2) 大綱挽時に民間施設と連携した“トイレ開放協定”の検討はあるか問う (3) 大綱挽モニメントの老朽化について把握しているのか、また早急に改善する考えはあるのか見解を問う (1) 那覇市の空き家総数・危険空き家数・密集住宅地の面積はどれくらいあるのか問う (2) 直近5年で火災出動件数がどれくらいあったのか。また大分佐賀関のような密集住宅地での火災が発生した際の本市の消防局の対応策はどうなっているのか問う (1) 現在、本市が管理する公園は全部で何施設あり、そのうち、トイレが設置されている施設数及び未設置の施設数はどうか問う (2) 新都心公園内に民間企業と協働でトレーラーハウス等を活用した休憩施設・一時避難スペースの導入を検討する考えはないか問う
【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長			

一般質問（2日目） 令和7年12月8日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	奥間 綾乃 (無所属)	<p>1 健康福祉行政について</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p> <p>2 市営住宅の入居申込み期間の適正化について</p> <p>3 那覇市におけるイベント等への助成制度の抜本的改善について</p>	<p>本市は、ノボノルディスクファーマー株式会社との連携協定を締結し、肥満症・糖尿病など生活習慣病の重症化予防に取り組むと報道にあったが以下伺う</p> <p>(1) 連携協定に至った経緯について (2) 市民の肥満率と健診受診率について (3) 本協定によって市民が受けられるサービスについて</p> <p>先日の新聞報道でも公表された市営団地の「子育て世代優先入居制度」について、制度そのものは歓迎できる。しかし、以前から団地について申込み期間が年始早々であることから締め切りに間に合わずに入居断念した市民が多くいることから改善を求める。以下伺う</p> <p>(1) 申込み期間の設定根拠について (2) 申込み方法について</p> <p>中心市街地にてイベントを行う主催者の皆様から補助金や助成金の手続きの煩雑さや補助対象経費の制限等から、申請手続きが難しい上に、採択までに時間を要するなど活用へのハードルが高いとの切実な声が寄せられている。現場の実態を踏まえ、誰もが申請しやすくかつ用途の幅が広がるような補助金・助成金制度になるよう改善を求める 「頑張るまちぐわー支援」について手続きの簡素化や補助対象経費の拡大はできないか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 インバウンドや観光客に優しい中心市街地づくりの推進について</p> <p>5 那覇市観光回遊ルート創出について</p>	<p>暑い中を、ベビーカーを押しながら、歩く観光客が授乳室を探すのに困っているとの声がある。観光客の往来が特に多い国際通りや中心市街地、やちむん通りに、このようなサービススペースが不足しているのではないか、また、インバウンドや観光客等が困らないような多言語での案内整備も必要と考える。トイレ提供店舗のように、ホテルなどと協力して授乳室を利用できる仕組みづくりを求める。以下伺う</p> <p>(1) 現状の配置状況について</p> <p>(2) 民間施設との連携について</p> <p>那覇市の観光の満足度向上には、移動そのものを楽しむ「体験型観光コンテンツ」の充実が不可欠であると考える。波の上エリアから国際通り、また首里城に至るまでの観光回遊ルートを人力車や馬車、トゥクトゥク等を用いてレトロな沖縄と現代的な雰囲気を併せた観光コンテンツを構築したいと考えるが、その可能性について市の見解を伺う</p>
【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長			

一般質問（2日目） 令和7年12月8日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	和田 圭子 (無所属)	学校給食について 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	<p>「学校給食法」というものが昭和29年にでき、その中で「学校給食の目標」の1番目に挙げられているのが「適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること」である。このように、学校給食は子供の健康によいものでなければならないと考えるが、以下伺う</p> <p>(1) お米について 約20年前に、精米法の発明により、玄米の栄養素を残しつつ、おいしくて、健康に良いお米が生まれた お米の品種には関係なく、特別な精米法によって、米粒の中で酵素やミネラル等が最も多い箇所である亜糊粉層を残したお米である</p> <p>① このようなお米があることをご存知か伺う</p> <p>② このお米は、『加工玄米（亜糊粉層残存米、ロウ層除去玄米）の摂取による医療費削減』という査読付き論文によって、このお米を摂取している人と摂取していない人の医療費を比べ、摂取している人の医療費がそうでない人の医療費より40%低いという結果が発表されているが、この事実に基づき、学校給食に、この亜糊粉層残存米を取り入れることは可能か伺う</p> <p>(2) パンについて 先日ご回答頂いたアンケートによると、那覇市では、パンの原材料つまり小麦粉は100%輸入であるが、輸入小麦の残留農薬の問題などがあるため、国産小麦100%に変える事は可能か伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 牛乳について</p> <p>① 私が調査した中学校では、数年前の生乳不足で生乳 50%以下の飲料が月に数回提供されていたが、現在でも月に2回ほど提供されており、味がよくないとのことで約6割が残されている事実についての認識を伺う</p> <p>② 牛乳も約3～4割が毎日残されている事実を踏まえ、選択制にすることは可能か伺う</p> <p>③ そもそもごはんに牛乳は合わないことで、給食費の20%強の金額を占める牛乳をやめて、お茶に変える事で、食品添加物の少ない調味料やオーガニック野菜などを取り入れることに関しての意見を伺う</p> <p>(4) 調理業務の民間委託について</p> <p>令和3年6月25日に全部改正された那覇市学校給食基本方針では、効率的な運営の推進ということで、調理業務の民間委託や大規模給食センター及び単独校調理場の小規模給食センターへの移行を進めているが、民間委託にすることで具体的にどう効率的になるのか、現在の学校給食の調理方式では、センター方式と自校調理方式があるが、直営と民間委託の両方が採用されており、その現実から直営と委託の両方を比較して、市の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（2日目） 令和7年12月8日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	下地 ななえ (なは自民・無所属の会)	<p>1 自衛隊について</p> <p>2 教育行政について</p> <p>3 公民館について</p> <p>4 たばこ税について</p>	<p>沖縄県議会で「自衛隊および隊員とその家族に対する差別的な風潮を改め、県民に理解と協力を求める決議」が10月8日の9月定例会最終本会議に可決されたことについて伺う</p> <p>(1) 知念市長は今年の5月に防衛省を訪れ人口減少対策のために「自衛隊員の市内居住を促進するための官舎整備などを要請した」との報道があった。自衛隊員にも家族がいて、子供がいれば那覇市の学校に通うことになるかと思う。今の沖縄の差別的な風潮について那覇市では今後どのように対応されるのか見解を伺う</p> <p>(2) 自衛隊に関する報道の在り方や、教育現場での自衛隊に関する扱いについて那覇市の見解を伺う</p> <p>(1) 日本国憲法第26条は、すべての国民に義務教育を受けさせる義務を課し、義務教育は無償で行われるべきと定めている。義務教育の目的や目標を伺う</p> <p>(2) まなびクーポンについてのオンライン対応について伺う</p> <p>(3) 小中学校のキャリア教育の現状と課題について伺う</p> <p>城岳小学校エリアのまちづくり協議会がようやく立ち上がったが、地域に集まれる集会場がない。公民館の設置基準について伺う</p> <p>市たばこ税が年々増収しているが、たばこによる喫煙者の健康リスクやたばこのポイ捨てについて、那覇市としてはどのように考えられているか見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 なは市のキャラクターについて	<p>なぜ那覇市では南城市の「なんじい」や豊見城の「アゴマゴちゃん」のような公式キャラクターを作らないのか 地方自治体が公式キャラクターをつくる目的は何か伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、 関係部長</p>

一般質問（2日目） 令和7年12月8日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	金城 なおこ (なは自民・無所属の会)	<p>1 災害ボランティアコーディネーター養成講座の導入について</p> <p>2 小学生を対象とするこども議会の創設について</p> <p>3 就学猶予制度について</p> <p>4 公園行政について</p>	<p>近年の災害頻発を踏まえ、被災者支援に不可欠な「災害ボランティアコーディネーター」を平時から養成し、地域に配置することが重要である。本市として「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を導入し、防災力強化と市民参加を推進すべきと考えるが見解を伺う</p> <p>本市では、11月19日に令和7年度若者ミライ議会が開催され、若い世代が自分たちの考え方や課題意識を市へ直接届ける機会が着実に広がっている。こうした取組をさらに次の世代にもつなげるため、小学生が学校や地域の課題について意見を述べる場として小学生を対象とした「こども議会」の開催について本市の見解を伺う</p> <p>発達や健康面において就学時期に特別な配慮が必要なケースがある。本市における低出生体重児を含む就学猶予制度について本市の現状を伺う</p> <p>強い日差しや突然の降雨により、乳幼児や子ども連れをはじめ、市民が長時間安心して利用しやすい状況がある。また、夏季には、遊具が高温となり、滑り台や手すりが触れないほど熱くなるなど、市民から様々な声を頂いている。安全面をしっかりと確保し、市民が季節や天候を問わず安心して利用できる公園とするためにも、日射・雨天対策としての大屋根や日除け設備の整備を計画的に進める必要があるのではないかと考えるが、本市の見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 産前産後子育て支援のデジタル活用について	<p>産前・産後の伴走型支援を一層強化するためには、夜間・休日を含めた相談体制の整備が不可欠と考える。産科や小児科の専門職へ、オンラインで即時に相談ができる仕組みは効果的であり、支援の厚みを増す有力な手段と位置づけられる。産婦が時間を問わず相談できる体制の構築に加え、産後ケア（宿泊・デイ・アウトリーチ）に、アプリ等を活用したオンライン相談を組み合わせた「子育て支援」の導入を提案する。本市の見解を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（2日目） 令和7年12月8日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	瑞慶覧 りか (無所属)	<p>1 伝統工芸後継者育成事業について</p> <p>2 乳幼児救命講習の実施状況について</p> <p>3 子どもの貧困対策について</p> <p>4 高齢者支援について</p> <p>5 首里末吉町安謝川の草木伐採について</p>	<p>伝統的工芸品は那覇市の歴史・文化を支える重要な基盤であるが、高齢化や従事者・購入者の減少により、技術継承が危機的状況にある工芸も存在している。那覇市における伝統工芸の現状及び伝統工芸士・技能士への支援策について伺う</p> <p>(1) 各保育園における小児の緊急時の対応マニュアルの整備状況及び、園の実情に合わせた研修の実施について伺う</p> <p>(2) 消防局が実施する小児に対する救命講習の内容・講師体制及び課題について伺う</p> <p>那覇市では、子育て支援金5万円の給付制度や窓口でのオムツ・ミルク受け取り等の対応がされている。しかし、情報を知らない世帯や夜間勤務世帯、行政の把握から漏れやすい家庭など、潜在的な支援対象世帯が存在する可能性がある。虐待のおそれのある世帯や生活困窮世帯への乳幼児ミルク支援の現状について伺う</p> <p>介護保険の申請の際に、家族内にキーパーソンがない場合、手続きが滞り、申請開始が遅れるケースが発生している。特に、一人親で介助の必要な子を育ててきた世帯や、同居でも双方に支援が必要な世帯、県外家族に頼る世帯では、申請が遅れ生活が破綻するリスクもある。キーパーソン不在世帯の実態把握と課題について伺う</p> <p>首里末吉町安謝川では、河川沿いの草木繁茂による増水・浸水、倒木やゴミ滞留の危険があるため、多くの住民から不安の声が寄せられている。災害リスクや管理課題について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		6 人事行政について 7 那覇軍港浦添移設について	<p>近年、市職員のメンタルヘルス問題が深刻化する中、ハラスマント対応や内部相談体制の強化、コンプライアンスの徹底が求められている。また、公契約を巡るトラブルも発生しており、法務リスクへの適切な初期対応や内部体制の強化が喫緊の課題となっている。このような状況を踏まえ、弁護士資格を有する職員（自治体内弁護士、インハウスローヤー）の採用について、以下市の見解を伺う</p> <p>(1) 法務需要が増す中で、弁護士資格を有する職員を配置することのメリットについて、市の見解を伺う</p> <p>(2) 弁護士資格を有する職員の採用を検討しているか。また、今後の方針について市の見解を伺う</p> <p>環境影響評価方法書にかかる手続きにおいて、那覇市長が県知事に出した意見について、その内容を伺う</p>
【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長			